

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成18年2月12日 14時00分～17時00分)

注 意 事 項

1. 試験問題の数は95問で解答時間は正味3時間00分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

- (1) 各問題にはaからeまでの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを(例1)では一つ、(例2)では二つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 県庁所在地は
どれか。

- a 栃木市
- b 川崎市
- c 神戸市
- d 倉敷市
- e 別府市

(例2) 102 県庁所在地はどれか。
2つ選べ。

- a 宇都宮市
- b 川崎市
- c 神戸市
- d 倉敷市
- e 別府市

(例1)の正解は「c」であるから答案用紙の


101 a b c d e のうち c をマークして

101 a b c d e とすればよい。

(例2)の正解は「a」と「c」であるから答案用紙の

102 a b c d e のうち a と c をマークして

102 a b c d e とすればよい。

- (2) 答案の作成には **HB** の鉛筆を使用し、濃くマークすること。
 良い解答の例…… (濃くマークすること)
 悪い解答の例…… (解答したことにならない。)
- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり「」のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。
- (4) ア. (例1)の質問には二つ以上解答した場合は誤りとする。
 イ. (例2)の質問には一つ又は三つ以上解答した場合は誤りとする。
- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。



1 悪性貧血患者で見られるのはどれか。

- a 地図状舌
- b 溝状舌
- c 平滑舌
- d 莓状舌
- e 黒毛舌

2 80歳の男性。歯科診療所の待合室で呼吸困難を訴え苦しんでいる。過呼吸は認められない。

まず行う処置はどれか。

- a 鎮静薬の静脈内投与
- b 人工呼吸
- c 気道の確保
- d 心マッサージ
- e 除細動

3 25歳の男性。抜歯後出血を主訴として来院した。血液凝固第Ⅷ因子活性の低下と右側膝関節の腫脹とを認める。

疑われるのはどれか。

- a 特発性血小板減少性紫斑病
- b 白血病
- c 血友病A
- d 悪性リンパ腫
- e 壊血病

4 急性智歯周囲炎の処置でまず行うのはどれか。

- a 温罨法
- b 開口訓練
- c 副腎皮質ステロイド薬投与
- d 抗菌薬投与
- e 智歯抜去

5 歯源性嚢胞はどれか。

- a 術後性上顎嚢胞
- b 鼻口蓋管嚢胞
- c 鼻歯槽嚢胞
- d 歯根嚢胞
- e 鰓嚢胞

6 口腔内からの多量出血でまず行う処置はどれか。

- a トレンデレンブルグ体位にする。
- b 輸血のため血管確保する。
- c 口腔内にガーゼをつめる。
- d 口腔内の血液を吸引する。
- e 頸動脈を結紮する。

7 口唇・口蓋裂の治療で正しいのはどれか。

- a 生後6か月ころから Hotz 床を使う。
- b 口唇形成術は体重 10 kg のころに行う。
- c 口蓋形成術は3歳ころに行う。
- d 顎裂部骨移植術は犬歯萌出期に行う。
- e 言語治療は3歳ころに開始する。

8 Peutz-Jeghers 症候群でみられるのはどれか。

- (1) 口腔粘膜のメラニン沈着
- (2) 多発性顎嚢胞
- (3) 口蓋裂
- (4) 大脳鎌の石灰化
- (5) 消化管ポリープ

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

9 ドライソケットで正しいのはどれか。

- a 歯槽硬線が不明瞭である。
- b 肉芽組織が充満している。
- c 周囲の炎症症状が強い。
- d ゾンデで骨を触れる。
- e 接触痛が少ない。

10 三叉神経痛の特徴はどれか。

- a 数時間持続する疼痛
- b 疼痛と疼痛との間は無症状
- c 左右同時に起こる疼痛
- d 50 歳以下に好発
- e 疼痛範囲の皮膚に水疱形成

11 口腔癌で正しいのはどれか。

- a 男性よりも女性に多く発生する。
- b 舌癌よりも歯肉癌が多い。
- c 若年層に好発する。
- d 口底が好発部位である。
- e 扁平上皮癌が多い。

12 顎関節脱臼の整復法はどれか。

- (1) Borchers 法
- (2) Hippocrates 法
- (3) Obwegeser 法
- (4) Tennison 法
- (5) Wassmund 法

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

13 クリニカルパスの目的はどれか。

- a 疾病予防
- b 院内感染対策
- c 医療の質の標準化
- d 医療訴訟への対応
- e 地域保健体制の確立

14 星状神経節ブロックの適応はどれか。

- (1) 帯状疱疹後神経痛
- (2) 三叉神経痛
- (3) 舌咽神経痛
- (4) 三叉神経麻痺
- (5) 顔面神経麻痺

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

15 組織内照射の適応はどれか。

- a 舌 癌
- b 上顎洞癌
- c 硬口蓋癌
- d 歯肉癌
- e 耳下腺癌

16 65歳の男性。下顎左側部の歯の動揺と歯肉の腫脹とを主訴として来院した。
5年前に舌癌のため65 Gyの放射線治療を受けたという。エックス線写真で
3～7 歯槽部から骨体部にかけて虫食い状の骨吸収像を認める。

まず行う処置はどれか。

- a 抜歯と搔爬
- b 切開と排膿
- c 洗浄と消炎
- d 高気圧酸素療法
- e 灌流療法

17 20歳の女性。パノラマエックス線写真で下顎右側大白歯部の透過像を指摘され
来院した。自覚症状はないという。生検で骨内に空洞が認められ、内部に嚢胞壁や
内容物はみられない。

疑われるのはどれか。

- a 残留嚢胞
- b 脈瘤性骨嚢胞
- c 静止性骨空洞
- d 単純性骨嚢胞
- e 含歯性嚢胞

18 21歳の男性。下顎左側第一大臼歯部の腫脹を主訴として来院した。2か月前に気付いたという。エックス線所見で、 $\overline{6}$ の歯根に連続した境界明瞭で類円形の不透過像とその周囲に一層の透過帯とを認める。

疑われるのはどれか。

- a 硬化性骨炎
- b 内骨症
- c 骨腫
- d 良性セメント芽細胞腫
- e 歯源性石灰化上皮腫

19 白板症で正しいのはどれか。

- (1) 擦過によって病変の一部が除去される。
- (2) 紅板症よりも癌化の頻度が高い。
- (3) 舌縁のものは癌化の頻度が高い。
- (4) 上皮層の角化亢進がみられる。
- (5) リンパ球の帯状浸潤がみられる。

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

20 頸部の悪性リンパ腫に有効なのはどれか。

- (1) 頸部郭清術
- (2) 高気圧酸素療法
- (3) 温熱療法
- (4) 化学療法
- (5) 放射線療法

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

21 HIV 感染症で正しいのはどれか。

- (1) B リンパ球が減少する。
- (2) HIV 感染後 1 週以内に抗体が検出される。
- (3) HIV は DNA ウイルスである。
- (4) HIV は唾液からも検出される。
- (5) 日和見感染症が発症しやすい。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

22 下顎が右側へ偏位するのはどれか。

- a 右側下顎頭肥大
- b 右側下顎頸部骨折
- c 右側筋突起骨折
- d 右側顎関節前方脱臼
- e 右側化膿性顎関節炎

23 抜歯で正しいのはどれか。

- a 心筋梗塞の発作後 1 年間を行わない。
- b 副腎皮質ステロイド薬投与患者では事前に投与を中止する。
- c 拡張期血圧が 120 mmHg の患者では延期する。
- d 空腹時血糖が 100 mg/dl の患者では延期する。
- e 人工透析の翌日には行わない。

- 24 ベラドンナ剤の麻酔前投薬で予防するのはどれか。
- a アレルギー
 - b 誤嚥性肺炎
 - c 術中出血
 - d 有害な神経反射
 - e 悪性高熱症
- 25 唾液腺疾患とその原因との組合せで正しいのはどれか。
- a 流行性耳下腺炎 ————— ムンプスウイルス
 - b 急性化膿性耳下腺炎 ————— EBウイルス
 - c 慢性硬化性顎下腺炎 ————— タンパク質代謝異常
 - d Sjögren 症候群 ————— 脂質代謝異常
 - e 良性リンパ上皮性病変 ————— サイトメガロウイルス
- 26 22歳の女性。左側口底の腫脹を主訴として来院した。腫脹はクルミ大の半球状で軟らかい。同部の穿刺を行ったところ粘稠で透明な液体を吸引した。考えられるのはどれか。
- a 鰓嚢胞
 - b 甲状舌管嚢胞
 - c 類皮嚢胞
 - d ガマ腫
 - e 脂肪腫

27 急性化膿性骨髄炎でみられるのはどれか。

- (1) 白血球数の増加
- (2) 核の右方移動
- (3) グロブリン量の減少
- (4) 桿状核球数の増加
- (5) CRP 値の上昇

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

28 正しいのはどれか。

- (1) 複雑骨折は骨折線が数本ある。
- (2) 筋突起骨折は咬合異常を起こす。
- (3) 若木骨折は不完全骨折である。
- (4) 直達骨折は外力の作用部に生じたものである。
- (5) Le Fort I 型骨折は骨折線が涙骨を通る。

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3) d (3), (4) e (4), (5)

29 54歳の女性。両側頬粘膜の疼痛を主訴として来院した。1週前から咀嚼時に接触痛があるという。びらん性口内炎の様相を呈し、擦過によって粘膜上皮が容易に剥がれ出血する。生検時の病理組織像では上皮内水疱形成、免疫染色では棘細胞間隙に自己抗体の沈着を認める。

疑われるのはどれか。

- a 扁平苔癬
- b ヘルパンギーナ
- c 帯状疱疹
- d 類天疱瘡
- e 天疱瘡

30 Melkersson-Rosenthal 症候群でみられるのはどれか。

- (1) 顔面神経麻痺
- (2) 地図状舌
- (3) 鉄欠乏性貧血
- (4) ビタミン B₁₂ 欠乏症
- (5) 肉芽腫性口唇炎

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

31 三叉神経痛の誘発帯とブロック部位との組合せで正しいのはどれか。

- a 鼻 翼 ————— 眼窩下孔
- b 舌 縁 ————— 下顎孔
- c 上 唇 ————— 大口蓋孔
- d 頬粘膜 ————— オトガイ孔
- e 頬部皮膚 ————— 切歯孔

32 7歳の女兒。発音がはっきりしないことを主訴として来院した。出生直後からミルクの鼻漏れがあったという。初診時の安静時口腔内写真(別冊No. 1A)とア音発声時の口腔内写真(別冊No. 1B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 瘻孔閉鎖術
- b 口蓋形成術
- c 咽頭弁形成術
- d 顎裂部骨移植術
- e 扁桃切除術

別 冊

No. 1 写 真A、B

33 18歳の男子。咬合異常を主訴として来院した。10歳ころに気付いたという。術前矯正治療が終了した手術直前の口腔内写真(別冊No. 2A)とエックス線写真(別冊No. 2B)とを別に示す。セファロ分析の結果の一部を表に示す。

SNA 角	: 77.0(標準値 81.8)
SNB 角	: 87.7(標準値 78.6)
ANB 角	: -9.3(標準値 3.3)
FH 平面に対する上顎中切歯歯軸傾斜角	: 108.0(標準値 108.9)
下顎下縁平面に対する下顎中切歯歯軸傾斜角	: 90.9(標準値 94.7)

適切な処置はどれか。2つ選べ。

- a 上顎前歯歯槽骨切り術
- b 上顎 Le Fort I 型骨切り術
- c 上顎 Le Fort II 型骨切り術
- d 下顎枝矢状分割術
- e 下顎前歯歯槽骨切り術

別 冊
No. 2 写 真 A、B

34 15歳の女子。上顎前歯部の腫脹を主訴として来院した。2か月前から徐々に増大してきたという。初診時のエックス線写真(別冊No. 3A、B)と生検時の病理組織像(別冊No. 3C)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 石灰化歯原性嚢胞
- b 腺様歯原性腫瘍
- c 歯原性石灰化上皮腫
- d 歯原性粘液腫
- e エナメル上皮線維腫

別 冊
No. 3 写真A、B、C

35 8歳の男児。咬合異常を主訴として来院した。初診時の顔貌写真(別冊No. 4A)とエックス線写真(別冊No. 4B、C)とを別に示す。

考えられるのはどれか。

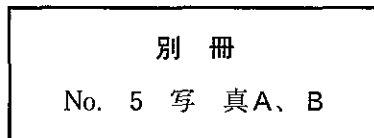
- a 大理石骨病
- b 鰓弓症候群
- c 口腔・顔面・指趾症候群
- d 鎖骨頭蓋異骨症
- e 頭蓋顔面異骨症

別 冊
No. 4 写真A、B、C

36 27歳の女性。下顎右側臼歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。1か月前に気付いたという。波動を触知するが、圧痛はない。初診時のエックス線写真(別冊No. 5A)と生検時の病理組織像(別冊No. 5B)とを別に示す。

診断名はどれか。

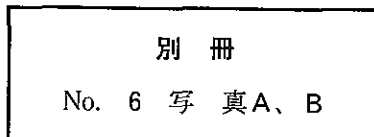
- a エナメル上皮腫
- b 単純性骨嚢胞
- c 歯根嚢胞
- d 原始性嚢胞
- e 歯原性粘液腫



37 72歳の女性。右側頬部からの滲出液の排出を主訴として来院した。2年前に下顎右側歯肉が腫脹したという。初診時の顔貌写真(別冊No. 6A)とエックス線写真(別冊No. 6B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 穿刺法
- b 切開・排膿
- c 腐骨除去術
- d 下顎骨辺縁切除術
- e 下顎骨半側切除術



38 2歳の女兒。口腔内の疼痛を主訴として来院した。37.8℃の発熱と摂食障害とがあるという。口腔内写真(別冊No. 7A)と手足の写真(別冊No. 7B、C)とを別に示す。

考えられる原因はどれか。

- a ヘルペスウイルス
- b コクサッキーウイルス
- c 麻疹ウイルス
- d パピローマウイルス
- e EBウイルス

別 冊
No. 7 写真A、B、C

39 36歳の男性。下顎右側臼歯部歯肉の腫脹を主訴として来院した。3か月前に気付いたが、痛みがないので放置していたという。腫脹部歯肉は軽度の圧痛があり、波動を触れる。初診時のエックス線写真(別冊No. 8A)と摘出物の病理組織像(別冊No. 8B)とを別に示す。

診断名はどれか。

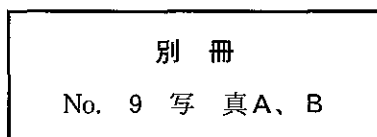
- a 歯根嚢胞
- b 含菌性嚢胞
- c 単純性骨嚢胞
- d 石灰化歯原性嚢胞
- e エナメル上皮腫

別 冊
No. 8 写真A、B

40 62歳の女性。舌の疼痛を主訴として来院した。SLEにて3か月前から副腎皮質ステロイド薬を内服中であるという。擦過すると病変の一部を除去できる。初診時の口腔内写真(別冊No. 9A)と生検時の病理組織像(別冊No. 9B)とを別に示す。

治療に有効なのはどれか。

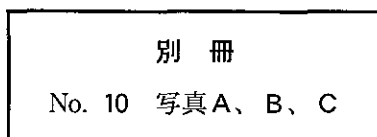
- a ミコナゾール
- b アモキシシリン
- c クリンダマイシン
- d 塩酸バンコマイシン
- e ゲルタラール



41 56歳の男性。上顎前歯部の腫脹を主訴として来院した。1年前に気付いたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 10A)、エックス線写真(別冊No. 10B)および摘出物の病理組織像(別冊No. 10C)を別に示す。

診断名はどれか。

- a 原始性嚢胞
- b 歯根嚢胞
- c 鼻歯槽嚢胞
- d 鼻口蓋管嚢胞
- e 術後性上顎嚢胞



42 60歳の男性。左側顎関節部の自発痛を主訴として来院した。3日前から開口障害を自覚し、昨夜から軽度の発熱、顎関節部の腫脹、自発痛および咀嚼障害があるという。初診時の顔貌写真(別冊No. 11A)と咬合時の口腔内写真(別冊No. 11B)とを別に示す。初診時の検査結果の一部を表に示す。

赤血球	: 411 万/ μ l
ヘモグロビン	: 12.6 g/dl
ヘマトクリット	: 37.4 %
白血球	: 17,500/ μ l
血小板	: 17.9 万/ μ l
C反応性タンパク	: 2.4 mg/dl

投与するのはどれか。2つ選べ。

- a 精神安定薬
- b 筋弛緩薬
- c 消炎鎮痛薬
- d 抗腫瘍薬
- e 抗菌薬

別 冊
No. 11 写 真A、B

43 58歳の男性。顎骨のエックス線透過性病変を指摘されて来院した。自覚症状はないという。腫脹は認められない。初診時のエックス線写真(別冊No. 12A)とCT写真(別冊No. 12B)とを別に示す。

考えられるのはどれか。

- a 単純性骨嚢胞
- b 脈瘤性骨嚢胞
- c 原始性嚢胞
- d 歯根嚢胞
- e 静止性骨空洞

別 冊
No. 12 写 真A、B

44 37歳の男性。下顎右側の歯肉腫瘍を主訴として来院した。半年前に気付いたが、痛みがないので放置していたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 13A)とエックス線写真(別冊No. 13B)とを別に示す。

疑われるのはどれか。

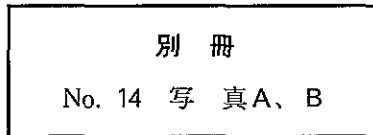
- a 紅板症
- b エプーリス
- c 外骨症
- d 歯肉膿瘍
- e 歯肉癌

別 冊
No. 13 写 真A、B

45 64歳の女性。左側舌縁部の異常を主訴として来院した。3週前に気付いたが、痛みがないので放置していたという。病変部は弾性軟である。初診時の舌縁部の写真(別冊No. 14A)と生検時の病理組織像(別冊No. 14B)とを別に示す。

診断名はどれか。

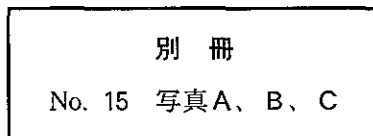
- a 白板症
- b 乳頭腫
- c 扁平苔癬
- d 口腔カンジダ症
- e 扁平上皮癌



46 63歳の男性。口底部の腫脹を主訴として来院した。1週前から増大してきたという。初診時の頸部の写真(別冊No. 15A)、口腔内写真(別冊No. 15B)および摘出物の病理組織像(別冊No. 15C)を別に示す。

診断名はどれか。

- a 甲状舌管嚢胞
- b リンパ上皮性嚢胞
- c 類皮嚢胞
- d 類表皮嚢胞
- e ガマ腫



47 52歳の男性。顔面の違和感を主訴として来院した。昨日から涙の分泌障害と味覚障害とがあるという。初診時の顔面写真(別冊No. 16)を別に示す。

治療に有効なのはどれか。2つ選べ。

- a カルバマゼピン
- b 副腎皮質ステロイド薬
- c ビタミンB₁₂
- d 抗菌薬
- e 消炎鎮痛薬

別 冊
No. 16 写 真

48 40歳の女性。右側頬部の腫脹を主訴として来院した。腫脹部の口腔粘膜は赤紫色を帯び、内部に硬固物を触れる。初診時のエックス線写真(別冊No. 17A、B)を別に示す。

疑われるのはどれか。

- a 骨 腫
- b 唾石症
- c 血管腫
- d 結核性リンパ節炎
- e 石灰化歯原性嚢胞

別 冊
No. 17 写 真A、B

49 65歳の男性。口底部の腫脹を主訴として来院した。10年前に気付いたが最近増大してきたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 18A)、背部写真(別冊No. 18B)および生検時の病理組織像(別冊No. 18C)を別に示す。

診断名はどれか。

- a 全身性エリテマトーデス
- b McCune-Albright 症候群
- c 基底細胞母斑症候群
- d von Recklinghausen 病
- e Gardner 症候群

別 冊
No. 18 写真A、B、C

50 16歳の男子。右側頬部の腫脹を主訴として来院した。2年前に気付いたが放置していたという。初診時のエックス線写真(別冊No. 19A)と生検時の病理組織像(別冊No. 19B)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 含歯性嚢胞
- b 歯原性角化嚢胞
- c 石灰化歯原性嚢胞
- d 歯原性線維腫
- e エナメル上皮腫

別 冊
No. 19 写 真A、B

51 12歳の男児。上顎左側小白歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。2年前に気付いたが痛みがないので放置していたという。腫瘤は骨様硬で、正常粘膜で覆われ、圧痛はない。初診時のエックス線写真(別冊No. 20A)と摘出物の病理組織像(別冊No. 20B)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 骨腫
- b 根尖性セメント質異形成症
- c 良性セメント芽細胞腫
- d 開花性セメント質骨異形成症
- e 線維性骨異形成症

別冊
No. 20 写真A、B

52 56歳の女性。舌のヒリヒリ感を主訴として来院した。5年前から嚙下障害を自覚しているという。初診時の舌の写真(別冊No. 21A)と手指の写真(別冊No. 21B)とを別に示す。初診時の検査結果の一部を表に示す。

赤血球	: 350 万/ μ l
ヘモグロビン	: 9.0 g/dl
白血球	: 6,300/ μ l
血清鉄	: 25 μ g/dl (70~160)
総鉄結合能	: 150 μ g/dl (290~390)
不飽和鉄結合能	: 650 μ g/dl (240~500)

()内は基準値

疑われるのはどれか。

- a Papillon-Lefèvre 症候群
- b McCune-Albright 症候群
- c Plummer-Vinson 症候群
- d Stevens-Johnson 症候群
- e Sturge-Weber 症候群

別 冊 No. 21 写 真A、B

53 59歳の男性。下顎右側臼歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。2か月前に気付いたという。潰瘍を認め、易出血性である。初診時のエックス線写真(別冊No. 22A、B)と生検時の病理組織像(別冊No. 22C)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 歯原性粘液腫
- b エナメル上皮腫
- c 粘表皮癌
- d 扁平上皮癌
- e 骨肉腫

別 冊 No. 22 写真A、B、C

54 58歳の女性。右側顎下部の腫脹を主訴として来院した。2か月前から同部に時々痛みとしびれとを感じているという。腫脹は弾性硬で圧痛はなく、顎下リンパ節は触知しない。顎下部の写真(別冊No. 23A)、CT写真(別冊No. 23B)および生検時の病理組織像(別冊No. 23C)を別に示す。

診断名はどれか。

- a 多形性腺腫
- b Warthin 腫瘍
- c 粘表皮癌
- d 腺様嚢胞癌
- e 腺房細胞癌

別 冊 No. 23 写真A、B、C

55 5か月の乳児。保護者が舌下部の異常を心配して来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 24)を別に示す。

疑われるのはどれか。

- a 舌小帯強直症
- b Blandin-Nuhn 腺嚢胞
- c ヘルパンギーナ
- d 正中菱形舌炎
- e Riga-Fede 病

別 冊
No. 24 写 真

56 29歳の女性。上顎右側頬部の腫脹を主訴として来院した。10年前に気付いたが、痛みがないので放置していたという。腫脹は骨様硬で圧痛はない。初診時のエックス線写真(別冊No. 25A、B、C)と生検時の病理組織像(別冊No. 25D)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 上顎洞炎
- b 線維性骨異形成症
- c エナメル上皮腫
- d 腺様嚢胞癌
- e 骨肉腫

別 冊
No. 25 写真A、B、C、D

57 10歳の女兒。口腔内の疼痛を主訴として来院した。3か月前に骨髄性白血病の治療のため、放射線全身照射と化学療法の後、幹細胞移植を受けたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 26A、B)と歯肉病変の生検時の病理組織像(別冊No. 26C)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a Behçet 病
- b AIDS
- c GVHD
- d Stevens-Johnson 症候群
- e ヘルパンギーナ

別 冊
No. 26 写真A、B、C

58 13歳の女子。上顎左側小臼歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。2か月前に気付いたが、痛みがないので放置していたという。腫脹部は骨様硬で、圧痛はない。初診時のエックス線写真(別冊No. 27A、B)を別に示す。

疑われるのはどれか。

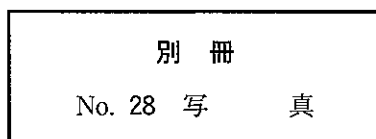
- a 腺様歯原性腫瘍
- b セメント質骨形成線維腫
- c 歯牙腫
- d 線維性骨異形成症
- e 骨肉腫

別 冊
No. 27 写真A、B

59 34歳の女性。下顎右側第一大臼歯の自発痛を主訴として来院した。抜髄を行うためにエピネフリン含有2%塩酸リドカインで浸潤麻酔を始めたところ、呼吸困難を訴え、意識レベルが低下した。処置10分後に回復した。処置時の写真(別冊No. 28)を別に示す。

処置の根拠となったのはどれか。2つ選べ。

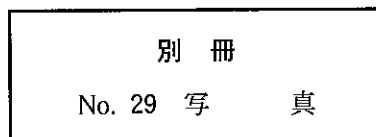
- a 徐脈
- b 過呼吸
- c 舌根沈下
- d 血圧低下
- e テタニー様けいれん



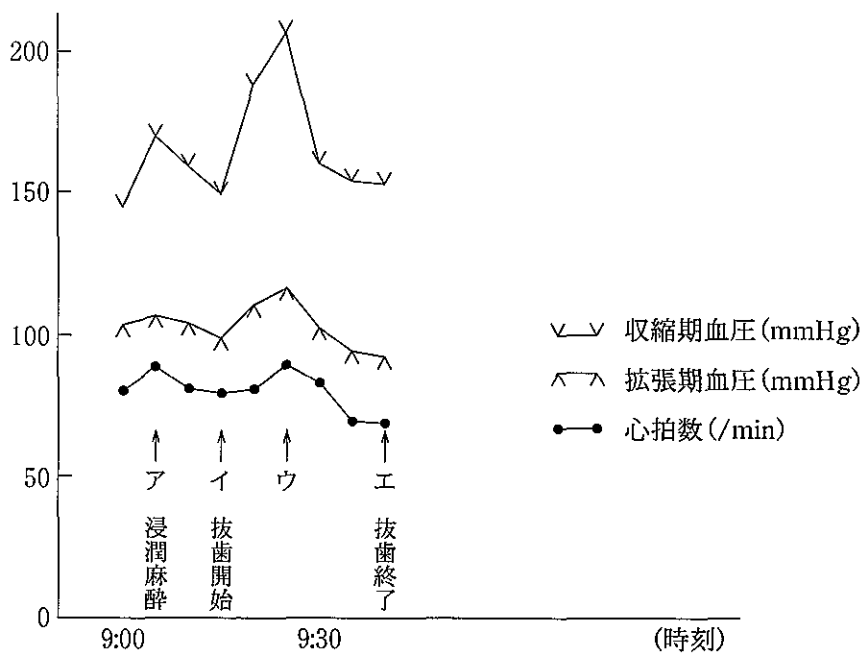
60 54歳の男性。上顎左側第二小臼歯の自発痛を主訴として来院した。抜髄を行うためにエピネフリン含有2%塩酸リドカインで浸潤麻酔を行った。その3分後に応答がなくなったため、バイタルサインを確認して処置したところ、意識が回復した。処置に用いた装置の写真(別冊No. 29)を別に示す。

処置の根拠となったのはどれか。2つ選べ。

- a 気道の閉塞
- b 血圧の上昇
- c 呼吸の停止
- d 換気量の増大
- e 脈の触知不能



61 65歳の男性。上顎右側第一小白歯の疼痛を主訴として来院した。エピネフリン含有2%塩酸リドカインによる浸潤麻醉下に拔牙を始めたところ、不快感を訴えた。モニタリングの経過を図に示す。



図のウで行った処置はどれか。

- a ハイムリック法の施行
- b 下肢挙上
- c 呼気再呼吸
- d ノルエピネフリン投与
- e カルシウム拮抗薬投与

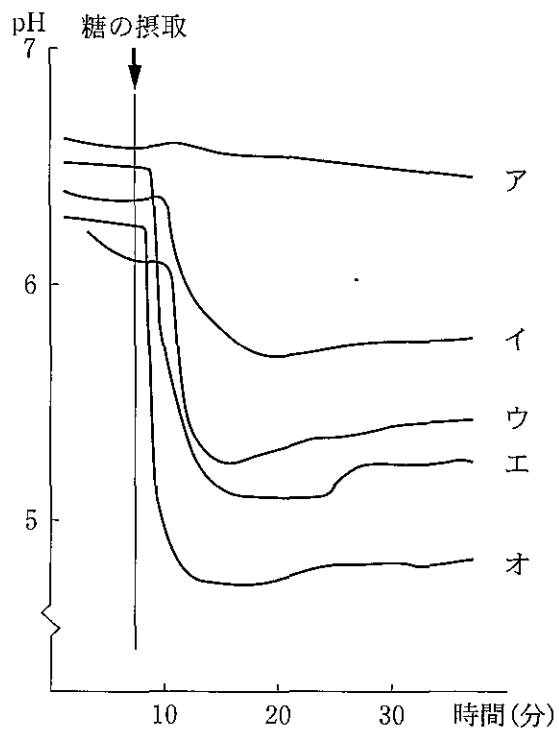
62 歯科衛生士の業務はどれか。

- a 局所麻酔
- b 齲蝕診断
- c 窩洞形成
- d エックス線撮影
- e フッ化物歯面塗布

63 プライマリーヘルスケアを謳っているのはどれか。

- a ヘルシンキ宣言
- b ニュールンベルグ綱領
- c ジュネーブ宣言
- d オタワ憲章
- e アルマアタ宣言

64 糖を摂取したときの歯垢 pH の経時変化を図に示す。



図のアはどれか。

- a ショ糖
- b 乳糖
- c マンノース
- d ソルビトール
- e 調理デンプン

65 歯磨剤で正しい組合せはどれか。

- a 発泡剤 ————— プロピレングリコール
- b 研磨剤 ————— リン酸カルシウム
- c 保湿剤 ————— ラウリル硫酸ナトリウム
- d 薬効成分 ————— グリセリン
- e 香料 ————— クロルヘキシジン

66 歯周疾患予防のために歯磨剤に配合されるのはどれか。

- a フッ化ナトリウム
- b アルギン酸ナトリウム
- c 塩化ナトリウム
- d 硝酸カリウム
- e ハイドロキシアパタイト

67 体重 13 kg の 3 歳児が 2 % フッ化ナトリウム溶液を誤飲したとき、急性中毒を起こす最小量はどれか。

- a 2.6 ml
- b 3.9 ml
- c 5.2 ml
- d 6.5 ml
- e 8.0 ml

68 歯科医師による歯および口腔の疾病の診査が法律で義務付けられているのはどれか。

- a 2歳児の健康診査
- b 就学時の健康診断
- c 海外派遣労働者の健康診断
- d 妊婦の健康診査
- e 障害者施設入所者の健康診断

69 老人保健法の保健事業で実施される検診項目はどれか。

- a 齲蝕
- b 歯周疾患
- c 不正咬合
- d 顎関節症
- e 口腔粘膜疾患

70 ある成人の歯周組織の検査結果を表に示す。

上顎	頬側	歯石沈着	-	-	-	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		プロービングデプス	3	1	②	2	2	2	1	1	1	2	1	2	2	1	3	2	②	2
	口蓋側	プロービングデプス	2	2	⑥	2	④	⑤	2	2	2	4	3	2	3	3	3	3	2	2
		歯石沈着	-	-	+	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
歯種			7			6			1			1			6			7		
下顎	舌側	歯石沈着	-	-	-	+	+	-	+	+	+	+	+	+	-	+	+	-	-	-
		プロービングデプス	2	1	1	3	2	3	②	2	②	②	1	③	2	3	③	2	2	③
	頬側	プロービングデプス	2	2	3	2	2	2	④	1	2	2	2	2	2	5	2	2	2	2
		歯石沈着	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-

検査項目の記載方法

歯石沈着：あり；+、なし；-

プロービングデプス：mm

プロービング時の出血があれば測定値に○

検査結果を CPI (部分診査法) のコードに変換したのはどれか。

a

3	3	0
1	3	2

b

4	0	1
2	2	3

c

3	0	0
0	3	2

d

4	3	1
2	3	3

e

6	4	3
3	4	5

- 71 健康日本 21 の「歯の健康」に関する目標で正しいのはどれか。
- a 西暦 2025 年までの達成目標である。
 - b う歯のない 3 歳児の割合を 90 % 以上にする。
 - c 12 歳児の一人平均う歯数 (DMF 歯数) を 1 歯以下にする。
 - d 成人期に歯間清掃用具を使用する人の割合を 60 % 以上にする。
 - e 80 歳で 20 歯以上自分の歯を有する人の割合を 50 % 以上にする。
- 72 9 歳の男児。学校歯科健康診断で下顎右側第一大臼歯の咬合面にインレー修復、近心面に齶窩が認められる。
- 健康診断票 (歯・口腔) に記載する記号はどれか。
- a C
 - b CO
 - c O
 - d ×
 - e △
- 73 トータル・ヘルスプロモーション・プランで、すべての労働者に対して行われるのはどれか。
- a 運動指導
 - b 心理相談
 - c 予防接種
 - d 機能訓練
 - e 栄養指導

74 1歳10か月の女兒。市の保健センターで実施している歯科相談に保護者とともに訪れた。歯科の受診経験はないという。来所時の口腔内写真(別冊No. 30)を別に示す。当日の質問票と歯科健康診査結果の一部を表に示す。

下記の質問にお答えください。

1. お口の中で心配なことがありますか。
(歯に汚れがついている、前歯がすいている)
2. むし歯の疑いの歯がありますか。 (はい)・いいえ
3. 間食の時間を決めていますか。 (はい)・いいえ
4. 1日何回間食をしますか。 (2 回)
5. よく飲むものは何ですか。 (麦 茶)
6. 保護者が仕上げみがきをしていますか。 (はい)・いいえ

歯の状態	E	/	/	/	/	/	/	/	/	E
	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E

保護者に勧めるのはどれか。2つ選べ。

- a 矯正治療
- b フッ化物の歯面塗布
- c 上唇小帯の切除
- d 現在の間食習慣の維持
- e 齲蝕の治療

別 冊
No. 30 写 真

75 3歳の女儿。食べ物が噛めないことを主訴として、母親に付き添われて来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 31)を別に示す。

この状態に至った最も大きな要因として考えられるのはどれか。

- a 卒乳の遅れ
- b 不十分な仕上げ磨き
- c 不規則な食事摂取
- d フッ化物の不使用
- e 哺乳ビンによる含糖飲料の摂取

別 冊 No. 31 写 真

76 13歳の女子。学校歯科健康診断時の口腔内写真(別冊No. 32)を別に示す。

歯肉に認められるのはどれか。

- a 肥 大
- b 退 縮
- c クレフト
- d メラニン色素沈着
- e スティッピング

別 冊 No. 32 写 真

77 40歳の女性。下顎右側前歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 33A、B)を別に示す。医療面接結果の一部を表に示す。

ブラッシング	: 3回/日、毎回約3分
補助的清掃用具	: 使用せず
使用歯磨剤	: NaFとクロルヘキシジン配合歯磨剤
喫煙	: 20本/日

まず行う指導はどれか。2つ選べ。

- a 禁煙
- b 歯磨剤の変更
- c 歯間ブラシの使用
- d ブラッシング回数の増加
- e 抗炎症薬の服用

別冊 No. 33 写真A、B

78 50歳の男性。職場の歯科健康診断で歯の着色を指摘されて来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 34)を別に示す。

考えられる原因はどれか。

- a 色素産生菌
- b 硫酸ミスト
- c 飲食物
- d フッ化物配合歯磨剤
- e 金属への長期曝露

別冊 No. 34 写真

79 歯科材料の生物学的性質を評価する *in vitro* 試験はどれか。

- a 埋植試験
- b 歯髄・象牙質試験
- c 断髄・覆髄試験
- d 感作性試験
- e 細胞毒性試験

80 酸-塩基反応で硬化するのはどれか。

- a 石膏
- b 歯科用アマルガム
- c グラスアイオノマーセメント
- d 付加型シリコーンゴム印象材
- e ポリメチルメタクリレートレジン

81 細胞毒性が最も強いのはどれか。

- a チタン
- b ニッケル
- c 銀
- d アルミナ
- e ハイドロキシアパタイト

- 82 アルジネート印象材で正しいのはどれか。
- a 寒天印象材と比較して流動性に優れる。
 - b ゲル化時間は化学物質で調整される。
 - c ケイソウ土は硬化促進の主体である。
 - d 硬化はアルギン酸ナトリウムの生成による。
 - e 反応遅延剤としてホウ砂が含まれる。

- 83 寒天印象材用 3 槽型コンディショナーの設定温度(°C)で正しいのはどれか。

	沸騰槽	貯蔵槽	調節槽
a	100	90	70
b	100	60	45
c	100	45	60
d	100	45	45
e	100	45	37

- 84 溶融温度が最も高いのはどれか。
- a タイプ1 金合金
 - b タイプ4 金合金
 - c 金銀パラジウム合金
 - d 純 銀
 - e 純 金

85 歯科用陶材の一般的性質で正しいのはどれか。

- a 熱伝導性が高い。
- b 靱性が大きい。
- c 衝撃に弱い。
- d 塑性変形が起こりやすい。
- e 電気の良導体である。

86 陶材の焼成温度を下げるための成分はどれか。

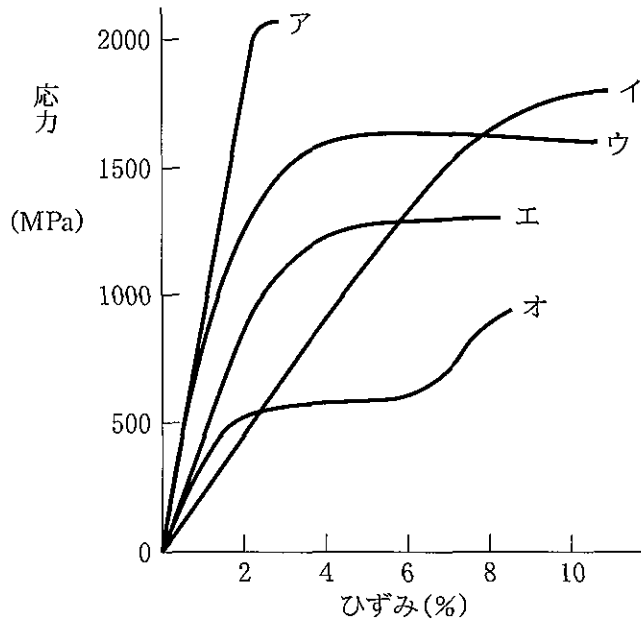
- a ホウ砂
- b シリカ
- c アルミナ
- d マグネシア
- e リューサイト

87 コンポジットレジンで正しいのはどれか。

- a ベースレジンモノマーはメチルメタクリレートである。
- b 光重合型は過酸化ベンゾイルによって重合が開始する。
- c 化学重合型は光重合型に比べ内部気泡が少ない。
- d 微粒子フィラー配合型では重合収縮が小さくなる。
- e ハイブリッド型には種々の粒径のフィラーが配合される。

- 88 義歯床の所要性質はどれか。
- a フローが大きい。
 - b クリープを示す。
 - c レジリエンスが高い。
 - d チクソトロピーを示す。
 - e 吸水性が大きい。
- 89 裏層用セメントの所要性質はどれか。
- a 大きな硬化収縮量
 - b 大きなクリープ量
 - c 大きな電気伝導率
 - d 高いエックス線透過度
 - e 小さな熱伝導率
- 90 フッ素徐放性レジン系シーラントで正しいのはどれか。
- a エナメル質とキレート結合する。
 - b 酸-塩基反応で硬化する。
 - c グラスアイオノマー系より歯面残存期間が長い。
 - d フッ素放出量が一定である。
 - e 防湿が困難な歯に適用される。

91 同一形状の5種類の矯正用線材の引張り試験を行った。測定された応力-ひずみ曲線を図に示す。



図のオはどれか。

- a コバルトクロム合金線
- b ステンレス鋼線
- c 加工硬化型ニッケルチタン合金線
- d 超弾性型ニッケルチタン合金線
- e β -チタン合金線

92 高負荷の加わる部位に使用するセラミック材料はどれか。

- (1) アルミナ
- (2) ジルコニア
- (3) リン酸三カルシウム
- (4) ハイドロキシアパタイト
- (5) マグネシア

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3) d (3), (4) e (4), (5)

93 溶融時に酸素との反応性が最も高いのはどれか。

- a 金合金
- b チタン合金
- c コバルトクロム合金
- d ニッケルクロム合金
- e 金銀パラジウム合金

94 ろう付け時に使用するアンチフラックスはどれか。

- a 黒鉛
- b ホウ酸
- c 塩化カリウム
- d フッ化カリウム
- e ホウフッ化ナトリウム

95 周速の最も大きい組合せはどれか。

	ポイントの直径 (mm)	回転数 (rpm)
a	6	4,000
b	5	6,000
c	4	8,000
d	4	10,000
e	2	15,000

